

～AMERICAN★DAYS～

七飯高等学校2年 森田 葉奈

2012年10月4日から10月15日までの12日間、海外派遣でボストン、コンコード、ニューヨークへ行って来ました。去年もボストンとコンコードを訪れていたためあまり不安などはなく、むしろ派遣が決まってからずっと、早く行きたくてうずうずしていました。

函館から羽田に行き、羽田からシカゴ経由で13時間くらいかけて行きました。アメリカに到着するまでは長かったけど、同じ飛行機だったアメリカ人の人と話をしたりして過ごしたのであつという間でした。

シカゴに着いてから入国審査があったのですが、たくさん人が並んでいてかなり時間がかかり、ボストン行きの飛行機に乗れず、急遽シカゴの「La Quinta」というホテルに1泊することになりました。ホテルに着いた時間が10時を回っていて、次の日も朝4時に出発する予定だったのであまり休めなかったのですが、予想外のハプニングだったので思い出です。

シカゴからニューヨークを経由してボストンへ行きました。ボストン空港ではコンコードカーライル高校のトムさんやデンティノー先生などコンコードの方々が出てくれたのでとても嬉しかったです。

空港からスクールバスでカーライル高校へ行き、ウェルカムランチのピザをいただきました。かなりお腹が空いていたのでより美味しくいただくことができました。ピザを食べながらみんなで話したりスクールバンドを少しだけのぞいたりして楽しかったです。食べたあとは独立戦争の始まりの地といわれているオールドノースブリッジを訪れコストコでお菓子などを買い高校へ戻りました。高校ではホストファミリーのみなさんが待っていてくれました。

私のホストファミリーのギャビーは、日本のアニメや漫画などが好きな女の子で、今年の4月にサイファイクラブで七飯町を訪れていたの、久しぶりの再会でした。高校から家へ帰ると、ギャビーのおじいさんとおばあさんが出迎えてくれました。部屋に案内されてから、私は日本から持っていったおみやげを渡しました。とても喜んでくれたので嬉しかったです。晩ごはんはトマトスープとスパゲティだったので、私は時差ぼけと疲れであまり食べられませんでした。

次の日は、午前中は自由だったので、ギャビーとメインストリートへ行きました。ギャビーがよく行く画材屋



さんや、日本でいう100円ショップなどへ行きました。帰ってからお昼までゲームをしているとギャビーのいとこが遊びに来ました。ハイチュウをあげるととても喜んでいました。お昼はママがピザを買ってきてくれてみんなで食べました。午後は「若草物語」の作者のルイザ・メイ・オルコットさんが実際に住んでいたオーチャードハウスへ見学に行きました。ガイドさんの説明はとても丁寧でわかりやすかったです。館長のジャンさんやキコさんにも会ってたくさん話しました。その他にも歓迎会ではみんなでカラオケをしたり、15周年式典に出席したり、ボストン研修ではニックが舟を用意してくれたのでそれで海からの景色を楽しみました。クインシーマーケットでショッピングをしたのも思い出です。

学校が休みの日にはギャビーと大きいショッピングモールに行きました。日本とは違ってあり得ないほど大きかったです。いろいろなお店があって目移りして大変でした。一番驚いたのは、自分好みのぬいぐるみを作れるお店があったことです。そこでギャビーと一緒にぬいぐるみを作りました。



また、別の日にはお昼にみんなでボストンまで行き中華料理を食べに行ったり、ロブスターを食べに行ったりしました。初ロブスターはすごく大きくて食べるのに時間がかかりました。でも、とても美味しかったです。授業があるときには一緒に授業を受けたり、休み時間はギャビーとその友達と話していました。日本語を教えたり、去年のホストファミリーや友達にも会えたので楽しかったです。

コンコードを旅立つ日は、朝7時前高校に集合しました。高校に行くまでの車の中で、ギャビーが私の好きな音楽をかけてくれました。ニューヨークへ出発するまでは、ホストファミリーや友達とおしゃべりしたり写真を撮ったりして過ごしました。すごくさみしくて泣いてしまったけど、メールアドレスを交換したり、また会う約束をしたりしたので良かったです。

ニューヨークへ行く前に、通り道にあるコネチカット州のニューヘヴンという町に行きました。そこでハンバーガー発祥の地と言われているお店に行きました。1895年に創業してから今でも続いているお店なので驚きました。

ニューヨークではロックフェラーセンターの展望台へ行ったり、自由の女神像を見に行ったりショッピングをしたりして楽しみました。タイムズスクウェアでは時間に関係なくたくさんの人が行き交っていました。また、



ホテルの売店のおじさんと仲良くなり、お菓子やジュースを買うと、合計金額よりもすごく安くしてくれたり、おすすめお菓子をくれたり、最後には私のイニシャルのキーホルダーをくれたりなど、うれしいことばかりでした。

今回でアメリカに行くのは2回目ですが、去年と違った新たな発見ばかりでした。12日間はとても長いように思えますが、1日1日の中身が濃くて充実していたのであっという間に感じました。この海外交流で私はもっと人と人とのコミュニケーションやつながりを大切にしていこうと思いました。そして成功したのは、周りのみなさんの支えやサポートのおかげです。ありがとうございました。これからも英語の勉強をもっと頑張って、将来は絶対アメリカに住みたいと思います。本当にありがとうございました。